

第129回（平成20年度第4回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成20年9月6日(土) 10:00～11:50
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第1会議室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事： (副会長)野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦
(専務理事)片 忠夫
(常務理事)三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善
(理事)徳本 進、金子 理人、吉野 大成、荻野 恭宏、安藤 努、
百海 廷、清水 忠、岡田 良平、小池 光、大澤 康之
平賀 淳夫、吉岡 去私
欠席理事： (会長)河野 洋平
(書面票決) (常務理事)菊地富士夫
(理事)国島みどり、岡本 洋一、斎藤 幸雄
4. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 徳本 進理事、平賀 淳夫理事を選出
7. 書記： 守谷 紀幸広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部

(1) 報告事項

ノルディック秋季ローラー講習会について

吉岡理事より、ノルディックの秋季ローラー講習会が9月13日から15日に開催されるが、参加者は、若干少なく9～10名程度の見込みとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

チャレンジカップ行事中止及び会場変更について

平賀理事より、チャレンジカップ第2戦・クラブ対抗スキー大会の会場と開催時期変更及び第3戦の中止につき、別紙資料のとおり提案がなされ、佐藤副会長から、行事の見直しとしての提案であれば全体の中で議論すべきではないかとの質問があり、片専務理事から、野辺山スキー場の閉鎖と3年連続の赤字行事ということでの緊急避難的な変更であるとの答弁がなされ、審議の結果、承認された。

専門委員の追加について

吉岡理事から、別紙資料のとおり8名の専門委員の追加について提案がなされ、承認された。

2) 教育本部

(1) 報告事項

各委員会等の報告について

木村教育本部長より、別紙資料のとおり教育作業部会、ウェア委員会、南関東ブロック協議会、教育部会等の開催につき報告があり、了承された。

(2) 審議事項

スノーボード指導者の特別合格による資格推薦について

木村本部長より、スノーボード指導者規定第13条の規定による特別合格指導者資格推薦について、別紙資料の2名に次の1名を追加して提案がなされ、承認された。

追加提案者：藤田 洋郷（川崎）スノーヴァ溝の口クラブ
オフトレーニング日程変更について

木村本部長より、9月28日、10月18日のオフトレーニング開催日程について、変更内容が決定次第、専務理事の了解を得て、HPにて掲載するとの提案がなされ、片専務理事からHPを見られない環境の会員もいるので、対処方法を検討するよう指示があった上で、承認された。

S A J 専門員定数変更について

木村本部長より、S A J 通達で南関東ブロックの専門員数枠19名を14名に変更するとの指示があり、神奈川は8月30日の南関東ブロック協議会で6名から4名に削減することとなった。8月31日の常務会で柳橋、金子両氏の推薦を取り下げるとの提案がなされ、清水理事からS A J の専門員削減の理由について質問があり、山田副会長（S A J 理事）からそもそも9名だったところをいろいろな事情から14名にしていたのに、さらに上乘せをして19名という人数になっていたため、S A J も経費節減のため人員を削減してきた。ブロック技術員もなくなる方向と聞いている。S A J は会長選挙問題の影響で、東京の増田千春氏が理事就任のルールに反して、県境を越えた推薦であるのに在住県連盟の承諾を得ていないという長野県連の指摘のために、理事に就任できなくなるという事態になっている。理事ではないが、柳橋氏も地元の山形県連の承諾を得ていないので、専門員ではあるが推薦を取り下げることになったとの説明があり、承認された。

行事開催中止のスキー場への連絡について

清水理事より、前回の理事会で行事が見直され、湯沢行事等が削減されたが協賛会員であるスキー場への連絡は正式に専務理事名等で行われたのかとの質問があり、片専務から各本部長名で通知を出すはずであるが、特に行事がなくなった岩岳については、専務理事との連名でツールの発送前に正式通知を出さなければいけないとの答弁があり、早急に教育本部は湯沢、競技本部は岩岳に対する文書を作成し、専務宛メールで送付することとなった。

野地副会長から、野辺山の閉鎖の正式連絡はあったのかとの質問があり、平賀理事から野辺山の佐々木氏から菊地本部長あて電話で閉鎖の連絡があったが、文書ではきていないとの答弁があり、片専務から、協賛会員との契約に際しては、必ず契約書を作成し、契約解除の条項を入れるようにしなければならないとの指示があった。

3) 総務本部

(1) 報告事項

慶弔関係 なし

資金運用状況

上田総務本部長より、8月末預金残高が7,195,436円で、去年同期より300万円程度多いが、押川基金の寄付金が特別会計への繰り入れ処理が終わっていないこと、川崎・横須賀の登録料が既に振り込まれているとの報告があり、了承された。

登録状況

荻野理事より、今年度登録時期の前倒しを行い8月20日から登録作業を開始したが、8月末現在932人、56団体が登録を行っているとの報告があり、了承された。

各種委員会

ア) 総務委員会

・電子申込委員会

徳本理事より、今年度も手数料0円で運用を行うので、さらなる利用の促進をお願いしたいとの報告があり、了承された。

・ハンディキャップ委員会

上田本部長より、11月9日午後セミナーを県社協にて開催予定との報告があり、了承

された。

・北海道委員会

吉野理事より、手続要領作成に間に合わなかった教育本部行事資料を本日の説明会にて配布し、コラボ関係についても説明を行うとの報告があり、了承された。

イ) 広報委員会

安藤理事より、SAKだより56号の編集作業が終了し、本日SAKツールとあわせて配布するとの報告があり、了承された。

ウ) 財務委員会

金子理事より、消費税データを会計事務所あて送付し、処理を依頼したとの報告があり、了承された。

南関東ブロック協議会の報告について

徳本理事より、8月30日東京9人、千葉2人、神奈川7人の参加者を得て開催し、SAJ専門員、SAJ役員、SAJ理事の登録等の問題について協議したとの報告があり、片専務から、8月から本連盟が2年間当番県となった。SAJの会長問題は都連の増田千春氏と杉崎壽三男氏が長野県連のクレームで条件付ながら理事候補と副会長候補から降りることとなった。それが、神奈川のSAJ専門員の枠の件に影響しているとの説明があり、了承された。

(2) 審議事項

指導員会後援事業について

上田本部長より、手続要領221ページに記載の指導員会行事について例年通り後援を行いたいとの提案がなされ、承認された。

SAK専門員追加承認について

上田本部長より、次の者について追加承認したいとの提案がなされ、承認された。

鈴木 孝一(厚木)ノルディック

有資格者事辞退届について

荻野理事より、次の3名について辞退理由を付して提案がなされ、承認された。

中込 正(死亡) 金田 輝和(活動困難) 田辺 孝子(資格不要)

研修費用免除願いについて

荻野理事より、申請のあった9名(横浜8、川崎1)について研修会費用の免除の理由を付して提案がなされ、承認された。また、功労指導員については、今後別に伺い書の形で免除の取り扱いを検討する。費用は免除しても資格の維持には結びつかないので、3年目の申請者については資格喪失の可能性がある旨の通知を付して、許可書を送付するとの説明がなされ、了承された。

協賛会員拡大について及び SAJ教育専門員選出については取り下げ

南関東ブロック協議会参加メンバーについて

上田本部長より、同協議会の出席メンバーについて、会長が出席できないので、副会長1名と専務及び常務理事、SAJ理事、事務局長(書記)としたいとの提案がなされ、審議の結果、会長としておき代理で副会長が出席できるものとするので、承認された。

ウェアー委員会答申と常務会意見について

吉野理事より、別紙のとおりウェアー委員会の答申書説明がなされ、上田本部長から別紙のとおり常務会意見の説明がなされた。平賀理事から、競技は作業の際に黄色は汚れてしまうので、教育との色分けを再度検討願いたいとの意見があり、清水理事から協賛見込み企業からの合い見積もりの提出、着用ルールの徹底、ボランティアである専門委員への購入強制の疑問などの意見があり、審議の結果、ウェアーの作成は行ない、今回に限り教育・総務本部は黄色、競技本部は黒の着用を義務化するが、今までのものがある者はそれでも着用可とする。4年に1回ユニフォームを作製することとし、1年前に相見積もりをとることでウェアー委員会の答申は、承認された。

旅費規程内規について

上田本部長より、今年度の総括常務理事以上の日当廃止について、旅費規程上の規定方法について、疑義が提示され、審議の結果、理事会議事録上の記載をもって、その効力を担保することとし、効力の改廃については、毎期首の理事会において確認することとすることに決定した。

70周年記念行事開催場所について

金子理事より、来年10月の記念行事開催場所について、河野会長の出席可能な10月3日は、ベイシェラトンホテルのみが使用可能で、新横浜プリンスホテルは10月10日が使用可能であるとの提案がなされ、審議の結果10月3日にベイシェラトンホテルとすることで、承認された。

S A Kツール(冊子)の次年度からの配布数削減について

上田本部長より、経費節減のため、次年度から1クラブ2冊、ただし5人以下のクラブについては1冊としたいとの提案がなされ、片専務からバインダー方式の検討も提案され、これも含めて承認された。

新規協賛会員について

上田本部長より、別紙のとおりの新規会員の提案がなされ、承認された。

4) 監事意見

内海監事より、冬季行事の会場変更があったものについては、早急に文書にてスキー場関係者宛に変更の通知及び変更の経緯の説明を行うよう要望があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成20年 9月16日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印